



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋  
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 久樹

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	94,101	10.0	1,404	256.8	1,500	144.9	1,880	—
25年3月期第2四半期	85,541	△2.5	393	△48.4	612	△39.3	160	△58.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,134百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.90	—
25年3月期第2四半期	1.53	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	88,996	20,256	22.5
25年3月期	83,245	18,683	22.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 20,034百万円 25年3月期 18,437百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,000	5.6	3,100	33.4	3,100	37.0	3,300	160.0	31.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	109,282,837 株	25年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,250,551 株	25年3月期	4,248,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	105,033,334 株	25年3月期2Q	105,034,766 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2P
(1) 経営成績に関する説明	2P
(2) 財政状態に関する説明	3P
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3P
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3P
3. 四半期連結財務諸表	4P
(1) 四半期連結貸借対照表	4P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6P
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8P
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9P
(継続企業の前提に関する注記)	9P
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9P
(セグメント情報等)	9P

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、難航する米国財政協議や新興国経済の景気減速懸念、回復の遅れている欧州経済など下振れ要因は残っているものの、政府の経済財政政策の効果が徐々に实体经济に波及し、輸出や個人消費に持ち直しの傾向が見られ、緩やかな回復傾向にあると言えます。

水産・食品業界におきましても、多少値段が高くとも高品質な商品の売れ行きが伸びるなど、従来の低価格志向と異なる動きも出てきましたが、円安の影響による原材料コストの上昇もあり、厳しい展開が続きました。

このような状況のもと当社グループでは、中期経営計画『パワーアップキョクヨー2015』が2年目に入り、目標達成に向けて取り組んでおります。また市販商品ブランド『シーマルシェ』を発表し、市販商品を拡大するとともに家庭用冷凍食品マーケットへの参入に向けた準備を進めております。

水産商事セグメントでは、堅調に推移した水産物市況を背景に、赤魚、ほっけ、さばなどの切身品、定塩さけ製品、伸ばしえびや生食用さけ・えび製品などの付加価値商品の取り扱いに加え、加工業者のニーズに合わせて半加工を施した原料の拡販に努めました。その結果、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

冷凍食品セグメントにおける水産冷凍食品事業では、解凍せずに調理できることで解凍の手間、解凍スペースを省き、だんごり良く調理してもらうことをコンセプトにした『だんごり上手』シリーズの販売を開始し、医療食や事業所給食を中心として拡販を行いました。調理冷凍食品事業は、量販店や外食産業向けに風味かまぼこやエビフリッターなどの販促に努めました。その結果、この部門の売上は前年同期を上回りましたが、生産コストの上昇や販売競争の激化により、利益は下回りました。

常温食品セグメントでは、さんまやさばなどの水産缶詰を中心に、輸入缶詰や畜肉缶詰、海産珍味類などを量販店や大手コンビニルートへ拡販するとともに新規商材の開発に努めました。その結果、売上は前年同期を上回ったものの、原料価格の上昇や円安の進行、販売競争激化により利益は下回りました。

物流サービスセグメントにおける冷蔵倉庫事業では、事業の効率化と営業力強化に努めました。冷蔵運搬船事業は、大幅にスリム化された船体編成のもと長期契約の獲得及びコスト削減に努めました。その結果、この部門の売上は前年同期を下回ったものの、利益は上回りました。

鯉・鮪セグメントにおけるかつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートを活用した加工品の販路拡大と、在庫水準の適正化を図りました。養殖事業は、漁場や漁獲規制が厳しくなる中、ヨコワ(稚魚)の確保に努めるとともに、親魚から受精卵を回収し、孵化魚の育成に努めました。海外まき網事業は、魚価が堅調に推移したものの、近海操業不漁により漁獲量が減少しました。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は941億1百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は14億4百万円(前年同期比256.8%増)、経常利益は15億円(前年同期比144.9%増)、四半期純利益は18億80百万円(前年同期は四半期純利益1億60百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ57億50百万円増加し、889億96百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金並びにたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ55億93百万円増加し、680億61百万円となりました。固定資産は、有形固定資産、無形固定資産ともに減価償却により減少したものの、投資有価証券の評価差額などの影響により、前連結会計年度末に比べ1億57百万円増加し、209億35百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ41億77百万円増加し、687億40百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億73百万円増加し、202億56百万円となりました。

この結果、自己資本比率は22.5%(前連結会計年度末比0.4ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、第2四半期までの実績に加え、原料価格上昇の影響などを織り込み、平成25年10月21日に業績予想の修正を行っております。

今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,888	3,397
受取手形及び売掛金	22,579	24,148
たな卸資産	32,307	36,047
その他	3,719	4,495
貸倒引当金	△26	△28
流動資産合計	62,467	68,061
固定資産		
有形固定資産	11,281	10,756
無形固定資産		
のれん	196	117
その他	378	356
無形固定資産合計	575	474
投資その他の資産		
投資有価証券	5,185	6,623
その他	3,745	3,084
貸倒引当金	△11	△3
投資その他の資産合計	8,920	9,704
固定資産合計	20,778	20,935
資産合計	83,245	88,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,183	8,594
短期借入金	23,191	28,889
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,288	880
引当金	722	721
その他	6,960	6,036
流動負債合計	49,345	55,122
固定負債		
長期借入金	8,153	7,759
退職給付引当金	5,832	4,832
その他の引当金	98	73
資産除去債務	51	51
その他	1,081	900
固定負債合計	15,216	13,618
負債合計	64,562	68,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,846	14,201
自己株式	△747	△748
株主資本合計	18,512	19,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△113	21
繰延ヘッジ損益	142	67
為替換算調整勘定	△104	77
その他の包括利益累計額合計	△75	166
少数株主持分	245	222
純資産合計	18,683	20,256
負債純資産合計	83,245	88,996

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	85,541	94,101
売上原価	76,028	83,397
売上総利益	9,513	10,703
販売費及び一般管理費	9,119	9,299
営業利益	393	1,404
営業外収益		
受取利息	38	37
受取配当金	75	63
補助金収入	74	64
為替差益	125	44
その他	115	92
営業外収益合計	428	303
営業外費用		
支払利息	191	179
その他	18	27
営業外費用合計	209	207
経常利益	612	1,500
特別利益		
固定資産処分益	10	0
厚生年金基金代行返上益	—	1,267
企業結合における交換利益	—	197
投資有価証券売却益	—	16
国庫補助金	30	—
特別利益合計	41	1,482
特別損失		
固定資産処分損	1	23
投資有価証券評価損	39	—
その他	3	—
特別損失合計	45	23
税金等調整前四半期純利益	609	2,958
法人税、住民税及び事業税	455	952
法人税等調整額	△8	251
法人税等合計	447	1,204
少数株主損益調整前四半期純利益	161	1,754
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△126
四半期純利益	160	1,880



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△126
少数株主損益調整前四半期純利益	161	1,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	135
繰延ヘッジ損益	△52	△75
為替換算調整勘定	49	320
その他の包括利益合計	△200	380
四半期包括利益	△38	2,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64	2,122
少数株主に係る四半期包括利益	25	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	609	2,958
減価償却費	831	744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△38	△8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	328	268
その他の引当金の増減額(△は減少)	9	3
受取利息及び受取配当金	△113	△100
支払利息	191	179
企業結合における交換利益	—	△197
厚生年金基金代行返上損益(△は益)	—	△1,267
売上債権の増減額(△は増加)	1,032	△1,506
その他債権の増減額(△は増加)	16	△68
たな卸資産の増減額(△は増加)	△732	△4,370
仕入債務の増減額(△は減少)	751	1,849
その他	39	△600
小計	2,926	△2,115
利息及び配当金の受取額	113	105
利息の支払額	△191	△198
法人税等の支払額	△844	△1,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,003	△3,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△550	△571
固定資産の売却による収入	12	0
投資有価証券の取得による支出	△6	△795
投資有価証券の売却による収入	—	22
連結の範囲の変更を伴う子会社合併による減少額	—	△287
貸付けによる支出	△847	△1,011
貸付金の回収による収入	960	948
その他	99	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△331	△1,693
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,869	5,766
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△439	△573
配当金の支払額	△525	△525
その他	△178	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,012	4,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	49
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△342	△479
現金及び現金同等物の期首残高	3,438	3,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,095	3,329

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	38,475	23,689	7,478	2,016	13,846	34	85,541	—	85,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,733	1,424	80	500	493	435	10,668	△10,668	—
計	46,209	25,114	7,559	2,516	14,340	469	96,210	△10,668	85,541
セグメント利益又は 損失(△)	227	98	36	△297	528	47	641	△248	393

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額248百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用335百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	45,330	25,521	8,652	1,503	13,057	36	94,101	—	94,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,403	1,601	71	480	634	426	11,617	△11,617	—
計	53,733	27,123	8,724	1,984	13,692	462	105,719	△11,617	94,101
セグメント利益又は 損失(△)	1,599	△219	△33	40	393	68	1,849	△444	1,404

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額444百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用424百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当する事項はありません。